



担当課からの説明をうけ、
委員会を運営する委員長と副委員長

予算審査特別委員会 令和6年度予算審査

委員会審査：3月8日、11日、12、13日

委員長：中田豪之助 議員

副委員長：奥崎 裕子 議員

令和6年度各種会計などの予算の審査を行いました。質疑や委員間討議を行い、各種会計予算は、委員会として原案可決すべきものと決定しました。

この議会日よりでは、3月定例会議で委員会報告をした内容の一部を掲載します。

◆予算の概要

歳入・歳出総額は、5億1,400万円（対前年度当初予算比で3億1,700万円、6.0%増）を計上しています。前年度当初予算は統一地方選挙のため骨格予算としての編成であったことから、前年度の6月補正後予算56億2,416万円と比較すると0.2%の減少となっています。歳入は町税で3億4,480万円（0.5%増）、地方交付税で28億9,000万円（1.0%増）、国及び道支出金で、7億3,166万円（7.4%増）、基金繰入金は、財政調整積立基金、ふるさとづくり基金、木質バイオマス削減効果活用基金から、1億7,856万円を計上し、町債は、

6億2,470万円を計上しています。



予算内容を説明する保健福祉課

◆委員会審査

所管課ごとに推進施策、事業概要などの説明を受け審査を行い、最終日の13日には町長、副町長、教育長ら理事者の出席を求め、総括質疑を行いました。

質問 ICT活用除雪システムを導入して町民にどのようなメリットがあるのか。

答 GPSスマートフォンを除雪車両に設置するので、大雪や経路変更などで除雪が遅れている場合でも確認が容易となる。町道、町道以外などの走行区分が把握でき、日報などの作業事務の軽減が図られる。除雪費の執行状況も把握できる。

質問 流雪溝への投雪は町民の負担が大きくなっている。長寿命化、廃止など将来の展望は。

答 国、道とも情報交換はしている。将来のあり方を検討する必要がある。